

ID:

患者氏名:

様

日付	月 日 ()	月 日 () ~ 月 日 ()	月 日 ()
経過	入院当日(治療前)	治療の期間	治療終了後～退院日
	入院時		退院時
達成目標	治療の経過がわかる。	・ 予定どおりに治療が終了する。 ・ 副作用出現時は適切に対処が受けられる。	・ 副作用への対処法を理解し実行できる。 ・ 退院指導の内容が分かる。
検査	血液検査、心電図、胸部エックス線撮影を行います。	・ 抗がん剤投与後一定期間、尿量を確認します。その都度、尿は捨てずにコップに溜めて、看護師に声をおかけ下さい。 ・ 定期的に血液検査を行います。	
治療・処置	身長、体重を測定します。 	抗がん剤の投与スケジュールに関しましては、病棟薬剤師より説明があります。 ☆アドリアシン投与後～1日は、尿が赤くなることがありますが、薬の色ですので心配はいりません。 【投与から1～2日後】 ・ 投与時過敏症状 → 薬剤投与中あるいは投与数時間後にかゆみ、息苦しさ、発熱、汗が出るなどの症状が出た場合は、すぐに教えてください ・ 便秘 → 下剤の内服、グリセリン浣腸 ・ 吐き気・嘔吐・食欲不振などの消化器症状 → 吐き気止めの内服または注射 【投与から数日間経過してから】 ・ 口内炎 → うがいや抗炎症薬の軟膏を塗布 【投与から1週間経過してから】 ・ 貧血 → 輸血(頻度は稀です) ・ 血小板減少 → 血小板輸血(頻度は稀です) ・ 白血球・好中球の減少 → G-CSF製剤(白血球を増やす薬)を注射 ・ 脱毛 → ウィッグやバンダナ、帽子などを使用 ・ 味覚の変化 → 味付けの工夫、うがいの励行 ・ 聴力の障害(耳鳴り、聴力低下など) → 耳鼻咽喉科を紹介して、検査、治療 ・ 腎機能障害 → 泌尿器科を紹介 	
説明・指導	・ 入院生活について説明します。 ・ 腎機能検査のため、尿をためる方法について説明します。 ・ 予測される副作用および予防法・出現時の対処方法について説明があります。 ・ 薬剤師から薬の説明があります。	点滴中、針の入っているところが痛くなったり、腫れたり、重苦しくなったら、すぐに教えてください。こまめに水分補給をしてください。	退院指導を行います(生活指導や次回外来再診日の連絡)
内服・点滴	現在飲んでいる内服薬の確認をします 内服薬は基本的に継続とします。 	現在飲んでいる内服薬は基本的に継続とします。 	症状に応じて内服薬が処方されることがあります。(吐き気止めや下剤など)
食事	基礎疾患(糖尿病・高血圧など)に応じて、治療食が出ます。	食事の制限は特にありません。たくさん水分を取るよう心掛けて下さい。吐き気のために食べられないときには、食事の変更ができますので相談ください。 	
生活・行動	特に行動制限はありません。		・ 白血球が減少すると感染に対する抵抗力が弱くなるため、人混みは避け、うがい、手洗いをしっかりと行い感染予防を行ってください。 ・ 血液データに応じて食事や行動の制限を行うことがあります。
清潔	シャワー浴ができます。(抗がん剤投与中、白血球が著しく低下している期間は、清拭のみとなる場合があります。)		
その他	熱が出た場合や血液検査などの検査結果に異常がある場合は、化学療法を延期することがあります。	他に気になる症状がありましたら、申し出てください。	1 2 アドリアシン シスプラチン

注) 予定は現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくに従って変わることがあります。